

希子です。

兵庫県支部設立にあたり、挨拶を申し上げます。

弊社は兵庫県内で特養、ショートステイ、デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅、認可保育園を運営する法人です。

力を入れてきた取り組みとしては、厚生労働省のキャリア段位制度に先駆けてスタートした「介護技術認定制度 ケアマイスター」があり、人材育成に特色のある法人として介事連にお誘いいただきました。

そのような経緯もあり、昨年度は介事連の委員会活動において、介護人材委員会の委員長を拝命しました。今後も法人として介護人材の確保・育成に関する取り組みを積極的に行い、介事連と業界全体に有益な情報発信ができるよう努めて参ります。

また、現在は厚生労働省からの委託事業である「介護サービス類型に応じた事業継続計画(BCP)作成支援業務」

に、介事連を代表して携わっています。

弊社施設はコロナ禍以前に台風による停電を経験し、3年前に独自のBCPマニュアルを作成しました。今年2月の衆議院予算委員会で言及されましたが、2024年度には全介護系サービスの事業者に対してBCPマニュアルの策定が義務化されます。厚生労働省からの委託事業に携わりながら、BCPマニュアルの策定という領域でも介事連会員各位に貢献したいと考えています。

弊社が事業を展開する兵庫県は比較的広い面積を持ち、介護事業者も数多く存在します。

しかし、県政は大阪府に従う姿勢で、時には遅れをとり、コロナ禍においても県内外から批判が集まる場面がありました。

このたび、兵庫県では新たな知事が生まれ、若返りを図ろうとしています。

介事連兵庫県支部としては、そのような新しい県政を見守り、時に連携し、時に要望を伝え、介護現場に本当に必要な支援獲得を目指していきます。

大阪府支部との合同設立総会でも申しましたが、兵庫県支部は、介事連が掲げているように、

株式会社や社会福祉法人などの企業形態に関わらず、高齢者に尽力する介護事業者が一丸となれる活動をしていきます。

介事連がより一層介護業界に必要とされる団体となるために、大同団結して取り組んでまいりますので、ご支援何卒よろしくお願い致します。

松本 真希子（まつもと まきこ）

社会福祉法人あかね 理事長

一般社団法人日本ケアマイスター協会 代表理事

一般社団法人全国介護事業者連盟 理事（関西副支部長／兵庫県支部長）

一般社団法人日本介護旅行サポーターズ協会 理事

兵庫県出身。大学卒業後、東京の金融企業を経て社会福祉法人あかねに入社。

2018年、同理事長に就任。業界の常識にとらわれず、介護の仕事の面白さにこだわった取り組みを追求し、業界の可能性を発信することを目指す。

◆【あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の介事連集団扱制度のご案内】

●あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（以下、あいおい損保）では、当連盟の一般会員（企業）ならびに従業員さまの損害保険を対象とした団体契約（集団扱）の募集を行っています。

●保険契約時の保険料の支払い方法で当連盟の集団扱を選択された場合、一部の商品を除き、一般の保険契約に比べて一括払なら5%割安、月払でも分割割増はありません。

●自動車保険、火災保険、介護保険・社会福祉事業者総合保険など様々な保険種目で集団扱を選択できます。

●相見積もりをご希望の方はぜひ以下までご相談ください。相見積もりの結果、お断りいただいても全く支障はなく、しつこい勧誘もいたしません。

（あいおい損保にご契約いただいている方）

継続手続き前にご担当の保険代理店・扱者へお問い合わせください。

（あいおい損保にご契約いただいていない方）

本部事務局が対応します。会員名（法人）、連絡先をご記入の上、本部事務局（担当：ゆずりは）へメール（yuzuriha@kaiziren.or.jp）にてご照会ください。

●詳しくは、以下の資料をご確認ください。

<https://clk.nxlk.jp/kFRDYB1k/test>

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

【特別対談】東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科 高野龍昭准教授 × 斉藤正行 令和3年度介護報酬改定の総括 集合住宅の『囲い込み』『使い切り』

<https://clk.nxlk.jp/7iEyW7M6/test>

【特別対談】東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科 高野龍昭准教授 × 斉藤正行 令和3年度介護報酬改定の総括 介護報酬が上がらなくても介護事業

<https://clk.nxlk.jp/IQPHvGkM/test>

科学的介護情報システム『LIFE』のフィードバックが始まる。

<https://clk.nxlk.jp/eQh7CIPj/test>

科学的介護情報システム『LIFE』フィードバックデータの活用方法を徹底解説

<https://clk.nxlk.jp/v8VRdCVE/test>

【全国介護事業者連盟動向】

7月12日 高齢者住まい事業者団体連合会と意見交換（オンライン）

7月12日 一般社団法人日本デイサービス協会主催 『出版記念特別セミナー』で理事長が講演（オンライン）

7月13日 一般社団法人日本在宅介護協会の森信介会長と意見交換（東京都）

7月13日 一般社団法人全国介護事業者協議会の座小田孝安理事長と意見交換（福岡県）

7月14日 第10回常任理事会の開催（東京都）

7月15日 一般社団法人全国障害福祉事業者連盟の設立総会に来賓として理事長が参加（オンライン）

- 7月16日 関西支部幹事会の開催（大阪府 オンライン）
- 7月19日 厚生労働省委託事業 医療・介護・保育分野等における職業紹介事業の適正化に関する協議会第1回介護分野情報連絡会に事務局長が参加（オンライン）
- 7月19日 関東支部・東京都支部・神奈川県支部・埼玉県支部・千葉県支部幹事会の開催（東京都 オンライン）
- 7月20日 Chatwork株式会社 主催 『生産性を大幅UP！ 報酬改定でも役立つICT化の実現方法』無料セミナーで理事長が講演（オンライン）
- 7月20日 一般社団法人日本在宅ケアアライアンスの新田國夫会長と意見交換（東京都）
- 7月21日 新潟県介護サービス事業者協議会総会で理事長が講演（オンライン）
- 7月21日 四国支部設立準備会の開催（香川県）

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

●介護人材 23年度末には233万人必要 厚労省推計 職業訓練拡充などで他業種からの人材流入促進

厚生労働省は7月9日、第8期介護保険事業計画の介護サービス見込み量に基づいて都道府県が推計した介護職員の集計を発表しました。

それによると2023年度時点で必要とされる介護職員数は約233万人。2019年度の全国の介護職員数は約211万人なので、約22万人増やす必要があります。同様に2025年度には約243万人、2040年度には約280万人の介護職員が必要になると推計されています。

これを受けて国では①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職員の魅力向上、⑤外国人人材の受入環境整備、などの総合的な介護人材確保に取り組む、としています。特に②では、他業種からの参入促進のためのキャリアコンサルティング、求職者向け職業訓練の拡充、返済免除付きの就労支援金・修学金などを掲げています。

しかし日本の就労人口全体が減少を続ける中で、今以上に介護業界に人材を呼び込むには相当思い切った施策が必要と考えられます。

第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

<https://clk.nx1k.jp/JX76rlu7/test>

「医療・介護 保育分野適合紹介事業者宣言」について

<https://clk.nx1k.jp/wR0IxQe0/test>

介護保険最新情報 Vol.998（新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第25報））

<https://clk.nx1k.jp/NN13idb1/test>

雇用と福祉の連携による離職者への就職支援の推進について

<https://clk.nx1k.jp/xpfngAig/test>

高齢者施設等における面会に係る事例集及び留意事項等の再周知について

<https://clk.nx1k.jp/8wXmzole/test>

「令和3年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等の サービス提供体制確保事業に係るQ&A集」について

<https://clk.nx1k.jp/jFtNwg6m/test>



■ 介護ニュース

他業界→介護職員で20万円を支給、要件の初任者研修は就職後でもOK!! 厚労省

<https://clk.nx1k.jp/SAfxfvAn/test>

「入浴介助加算は始まり。通所介護は発想の転換を」 デイサービス協会・森氏

<https://clk.nx1k.jp/8VnNXAcL/test>

「自立に取り組む必要ない」 通所介護の入浴介助加算、障壁はケアマネの無理解?

<https://clk.nx1k.jp/MNi7DS6m/test>

介護職員 2025年度に32万人不足 厚労省推計 年5.3万人増必要

<https://clk.nx1k.jp/p2MD1b5A/test>

【給付分析】5種類のデイでニーズ分散 コロナ特例で救済

<https://clk.nx1k.jp/EZMtWw0w/test>

特定技能の外国人介護就労者 1年間で30倍に

<https://clk.nx1k.jp/ff36zepr/test>

ワクチンの副反応で介護職が休んでも、直ちに基準違反とはなりません! 厚労省

<https://clk.nx1k.jp/V87THpzB/test>

介護職員、2040年度までに69万人増が必要 厚労省「対策を強化する」

<https://clk.nx1k.jp/doo0xMt4/test>



■ 編集後記

ワクチン接種が進み高齢者の外出増加 久々の猛暑体験は身体へのダメージ深刻

梅雨が明け、全国的に本格的な夏となりました。依然としてコロナの感染状況は深刻ではありますが、高齢者を中心にワクチン接種が進んだことから、「施設から一歩も外に出られなかった」という昨年の夏とは異なり、散歩などの外出レクを行ったり、個人的な外出を認めたりする高齢者施設も増えているのではないでし

ようか。

しかし、昨年の夏は外出を控えていた人にとっては、2年ぶりに経験する35度前後の気温であり、身体へのダメージも大きいと思われます。また、外出を行えるようになったとは言え、マスクを着用した上でのことでしょうから、いつも以上に熱中症のリスクがあります。

高齢者の中には自分の意思をきちんと表示することが難しい人がいることもあり、ヘルパーなど周囲の人が熱中症防止に配慮しなくてはなりません。周辺の状況を判断して適時マスクを外させるなど、柔軟な対応が求められます。

メルマガ編集担当

【配信元】

一般社団法人全国介護事業者連盟

<https://clk.nx1k.jp/7Q4Dgb7s/test>

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-1-4 西脇ビル 4階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp